

Myボラタイムズ

発行：村山教育事務所
社会教育課
発行年月日：
2024年9月25日

Myボランティアスキルアップセミナー 未来へのステップ ~つなぐ ひらく 見つける~



村山地区中学生41名が参加し、令和6年度MYボランティアスキルアップセミナーを実施しました。今年度も、村山地区のボランティアサークル会員や高校生、市町教育委員会担当者や教員ボランティアを班付アドバイザーに迎え、適宜、アドバイスをいただきながら、天童市内の保育施設や放課後児童クラブ、高齢者福祉施設でボランティア実習体験を行いました。その様子を紹介します。

開講式



ボランティア講座



サークル紹介



MICAN (山形市)

あすなろ (上山市)

ミルク (山辺町)

チェリーズ (寒河江市)

各市町ボランティアサークルの会員や担当者より、活動紹介をしていただきました。学校外でボランティアに取り組んでいる同年代の仲間との存在を知ることができました。



nicoこえ (天童市)

3peace (東根市)

風くるま (尾花沢市)

二十四孝PART II (大石田町)

アイスブレイク

緊張していた雰囲気でしたが、アイスブレイクによって、班の仲間との距離がぐっと縮まり、笑顔あふれる時間となりました。

講師は村山教育事務所職員です。

お互いの好きなモノを教えながら、連結自己紹介をしました◎

「頭♪」「ひざ♪」の合図で手を当て、「なかま♪」ではみんなで肩を組み合い、お互いの心がオープンに◎

幼児・児童対象「読み聞かせ講座」 講師：読み聞かせサークル「くれよん」



幼児対象の講座では、まず、幼児の関心を惹きつける手遊びを学び、その後、読み聞かせのポイントを教わりました。学んだことを活かし、聞き手となる幼児を思い浮かべて本を選び、読む練習を行いました。表情を豊かにしたり、歌を交えたり、講師の助言を受けながら練習しました。



児童対象の講座では、アイスブレイクとしてミニゲームなどを紹介した後、身振り手振りを交えた読み聞かせを学びました。児童が喜ぶような内容は何かを講師に質問しながら、絵本を選ぶ姿が見られました。児童の集中が絵本に向くように、読み聞かせのコツをアドバイスいただきました。

高齢者対象「紙芝居講座」 講師：山形紙芝居研究会 折原 由美子 氏



高齢者対象の講座では、自作視聴覚教材コンクールに出品した紙芝居作品を用いて演じていただきました。「紙芝居は演じるもの」であり、役に応じた声の出し方や紙芝居を引くタイミングなどのアドバイスをもらって、熱心に演じる姿が見られました。



地域には、読み聞かせで活動している団体や自作視聴覚教材として紙芝居を創作し、自分たちで演じている方々など、様々な方がいらっしゃるということも、みなさんには知っていただきたいです。こうした出会いが次の1歩につながり、活動の幅を広げます。

幼児対象「手遊び講座」 講師：学校法人善行寺学園天童幼稚園 保育士



幼児対象の手遊びや体操を年少児向けと年中長児向けで分かれて、保育士の先生方に教わりました。年齢が異なるだけでも感じ方は異なることがわかりました。先生方の笑顔につられて、中学生も班付アドバイザーの高校生も満面の笑みと元気なかけ声で体操している姿が印象的でした。

児童対象「工作講座」 講師：山形県環境科学研究センター 安藤 昭 氏



牛乳パックやストローなど、身近にある安価な材料で作ることができるおもちゃを教わりました。一緒に作ってもよし、持参して遊んでもよし。いろんな可能性が広がるおもちゃやおもちゃ作りのアイデアを学びました。工夫次第で、遊び方は無限に広がることを体感しました。

高齢者対象「介護福祉講座」 講師：天童デイサービスセンターつるかめ 介護福祉士



高齢者を対象にして、どんな活動が適しているのか、どんな対応を心がけていくといいのかについて教わりました。高齢者との活動はほぼ初めての参加者たちは、真剣に話を聞いて、どんな活動を企画しようか考えていました。喜んでもらうにはどうしたらいいか、たくさん質問する姿が見られました。

グループワーク～企画を考える！～



実技講座を経て、いざ、翌日に訪問する施設で何をするかを、班のみんなで考えました。班付アドバイザーに相談したり、実技講座で講師を務めた先生方に質問したり、自分たちの知識、知恵、経験をもとに企画を練りました。相手にする幼児・児童・高齢者それぞれが喜んでもらうために、自分たちができることを一生懸命考え、練習する姿が見られました。

施設訪問

緊張しながらも、相手の笑顔に力をいただき、最後までやりきることができました。訪問施設から帰ってきた皆さんの充実した表情が印象的でした。



参加者の声

- 小さい子たちと仲を深めるために工夫などを試行錯誤しながら行っていくうちに、小さい子と関わることがとても楽しく、いつの間にかさっきまであった不安がどこかへ飛んでいった。「不安でも行動してみる」ということを学び、自分のものにできたと思う。
- 私が困っている時は助けてくれたり、面白いことがあったら一緒に笑い合ったり、2日間がとてもあっという間だった。不安なことがあってもやってみようという気持ちがあればなんとかなるし、1人で不安な気持ちになっても支えてくれる仲間がたくさんいると改めて思った。
- 自立心、発言力、想像力などが身についた。この力を生かして、様々な分野のボランティアに参加したいと思うきっかけにすることができた。この活動が成功したのは、グループの仲間、先生などの存在が大きく、私もそういう存在になれるように、人に優しくありたいと思った。
- この2日間、人のために考え、人のために行動することは楽しかった。最後に、児童から「また来てね」と言われ、成果も感じ充実した2日間になった。これからも頑張っていきたい。
- 今まで見る側だったので、いざ読む側になると、紙芝居は演じてするものだと分かった。この発見を意識して紙芝居を演じた。高齢者向けの施設で、普段とは違う場所での発表や会話を成り立たせることは難しく、緊張した。また、同世代とは違う人生の大先輩と会話することはないから、話題には困ってしまったけれど、臨機応変に対応し、グループのめあてを達成することができた。

実習施設の声

- とても積極的で、子供たちに笑顔で接する姿が見られた。子供たちに声をかける時には、優しい声でゆっくり話す姿があり、丁寧に関わってくれた。子供の目線に立ち、たくさん言葉をキャッチしてくれる姿に、子供たちも嬉しい表情を見せていた。
- 企画以外にも、プール活動にも参加し、子供たちのいつも以上に楽しむ姿が見られた。お姉さん方の積極性が感じられ、とても良かった。
- 態度、言葉遣いについて、大変立派だった。意欲的なところや、こちらからの要求にすぐに応えてくれるところが素晴らしかった。大学生の実習のように子供たちをまとめてくれた場面もあり、嬉しい驚きだった。
- 講座でお伝えしたコミュニケーションで気を付ける内容を生かし、お客様と同じ目線ですぐにしゃがんでお話ししており、マスクをつけていても笑顔がわかる表情で、頑張っている、楽しんでいるのが伝わりました。

MYボランティアスキルアップセミナーの開催にあたり、様々な方・団体に御協力いただき、ありがとうございました。このセミナーに参加した中学生、学生の皆さんが、様々な場面で活躍すること及びこのセミナーが地域青少年ボランティア活動推進の土台となることを願います。